



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

CO₂吸収量を調査

富士の子ども レンジャー 環境への意識新た

富士市広見まちづくりセンターは9日、児童が樹木の二酸化炭素

見公園で開いた。大気汚染防止推進月間に合



サクラの幹の太さを測る児童—富士市広見公園

2012年12月12日朝刊東部版

どの樹木の幹の太さをメジャーで測定。計算式で葉の合計面積を推定し、樹木が1年間に吸収するCO₂量を算出した結果、調べた19本の樹木を合計すると人間109人分のCO₂を吸収していることが分かった。講師の富士自然観察会の山田高会長と運

「CO₂は工場や自動車からも出る」「温暖化を防ぐためにも少しでも節電して」と呼び掛けた。

参加した市立広見小2年の長田拓己君(8)は「木は地球を守ってくれるから大切にしたい」と意識を新たに

営委員の小沢緑さんは

- ① 写真の女の子は木の幹の太さを測っています。木に声をかけてあげてください。
- ② 木は何を吸収しますか。

- ③ 樹木が1年間に吸収するCO₂量について、
() に数字を書きましょう。

() 本の樹木が吸収するCO₂量
||
人間 () 人分のCO₂量

- ④ CO₂ は人間が呼吸で出す以外に、何かからも排出されるでしょうか。

年 組 名前

(小学校高学年 理科)